

北海道地労委で勝利命令

清算事業団一・七〇四名 全員の採用を命令

北海道地労委は一月二〇日、国労組合員のJR不採用は「顕著な組合間差別を行った不当労働行為である」「JR北海道、貨物は一七〇四名全員を採用せよ」と命令を出した。大阪地労委に続くこの救済命令は、分割・民営化の真の狙いが十万人首切りにあり、労働組合つぶしのためなら手段を選ばぬ類例を見ぬ悪質なものであつた事を満天下にあき、弾劾したのである。遂に清算事業団労働者は地労委での全面勝利をかちとつた。

不当労働行為と認定

北海道地労委の命令は、

①国鉄の職員管理調書は國労組合員及び活動を不利に扱うものであり、
②人活センターなどさまざま的な国労対策を行つた。
と当局の国労つぶしの数々を不当労働行為であると全面的に認定し、また

当局の「JRと国鉄は別」という悪質極まる言い逃れには「実質的には同一である」としJRに雇用責任があると明確にした。

国鉄とJRは同一

ここに日帝・自民党あげての国家的不当労働行為が明確にされ、分割・民営化の過程がいかに悪質かつ大規模な組合つぶしだったかを、またそのためならば百名を超す

自殺者を出そうが、十万人もの首を切ろうが、平然としているのが権力者であり、「JR」とは労働者の血の犠牲の上にそんざいしているものである事を今、万人の前に明

らかになつたのである。これほどまでも明確な地労委の救済命令にもかかわらずJR当局は従う意思など毛頭なく「責任は国鉄にあり、今さら採用する気などない」として開き直っているのでだ。

一体誰が、国鉄とJRが無関係などと考えよう。首切り名簿を作成したのは国鉄の職制であり、いまではJR各社の職制となり、不当労働行為の張本人どもはぬくぬくとしているではない。さらに仕事も設備もすべて国鉄そのものを引き継いでいるではないか。まさに清

算事業団とは首切りの隠れみのに他ならず、JR当局の言い分は、白い黒と言いくるめるためのも

らかになつたのである。これほどまでも明確な地労委の救済命令にもかかわらずJR当局は従う意思など毛頭なく「責任は国鉄にあり、今さら採用する気などない」として開き直っているのでだ。

同時にJRと期を一にした清算事業団当局は、来年四月を待たずに「本州へ行くか、再就職に応じるか」とまた本州事業団の仲間には「再就職以外にない」とのおどしをまつて本格的な叩き出しを開始したのである。

しかし、「広域募集者」はほとんどと言つていいほどなく完全にいきずま

っていいる。

同時にJRと期を一にした清算事業団当局は、来年四月を待たずに「本州へ行くか、再就職に応じるか」とまた本州事業団の仲間には「再就職以外にない」とのおどしをまつて本格的な叩き出しを開始したのである。

しかし、「広域募集者」はほとんどと言つていいほどなく完全にいきずま

2月15日労働千葉 総決起集会に結集を

労働千葉は、清算事業団

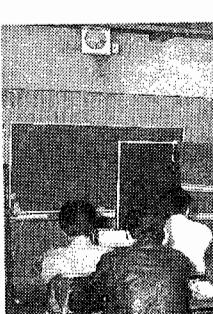
三年目に入らんとする二月十五日・千葉市民会館において、「清算事業団闘争勝利! 八九・三ダイ改阻止! 労働千葉総決起集会を開催する。全組合員は総決起しよう。残す一年余り、闘つて闘つて十二名の仲間・全国の仲間を奪還しよう。

清算事業団労働者の闘いは、国鉄労働者のかけがいのない財産だ。不屈精神をわがものとして、必ずや「原地・原職」をかちとらなくてはならない。闘いはまさしくこれからだ。全国鉄労働者の怒りの実力闘争でこそかちとられる。一人の首切りも許すな!

書記長は「ふたたび東中野駅事故を起こしてはならない。大合理化攻撃を粉砕するためスト体制確立の先頭にたとう!」と表明。討議に移り、各支部より職場の現状が報告され、二月ストライキにむけたビラまき街宣行動をはじめ一・二月行動方針を確認した。

みんな。清算事業団問題や原職奪還・ローテーションの確立も含め、当局側は何ひとつ労働千葉の要求にまともに応えようとしていない以上、ストライキで闘おうではないか。第二・第三の東中野駅事故を許さぬため

に総力で闘おう!



国鉄「分割・民営化」体制粉碎! 鉄道労連解体をかちとろう!

一月二〇日、一八時すぎ
開催され、各支部より二
五名の仲間が参加して意
思統一が行われた。

二月ストライキへ!
書記長は「ふたたび東中野駅事故を起こしてはならない。大合理化攻撃を粉砕するためスト体制確立の先頭にたとう!」と表明。討議に移り、各支部より職場の現状が報告され、二月ストライキにむけたビラまき街宣行動をはじめ一・二月行動方針を確認した。

みんな。清算事業団問題や原職奪還・ローテーションの確立も含め、当局側は何ひとつ労働千葉の要求にまともに応えようとしていない以上、ストライキで闘おうではないか。第二・第三の東中野駅事故を許さぬため

に総力で闘おう!

二月ストライキへ!